

教科	科目	略称	単位数	履修上の留意点			担当者
国語	現代の国語	現国	2	スクーリングは教科書を持ってきてください。			阿部
教科書発行者	東京書籍	番号	現国	002-901	教科書名	新編現代の国語	
修得条件	提出レポート数	6	考查・課題	考查	出席必要回数/スクーリング回数	1 / 2	
指導目標			メディア視聴	任意参考	メディア減免	6割を上限	
文章の読解を通じて、基本的な言語能力や読解能力を育成するとともに、自己内省や他者、社会との関わりについても思索する。							

年 間 指 導 計 画

レポート			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	随筆	こそめスーブルポシカミキリ	p6-p17	
2	評論	未来をつくる想像力/水の東西	p24-p38	
3	評論	無彩の色	p78-p92	
4	随筆	鍋洗いの日々/森で染める人/動きを引き出す言葉の力	p100-p124	
5	随筆	りんごのほっぺ/美しさの発見	p152-p168	
6	評論	天動説はなぜ「正しかった」か？/真の自立とは	p184-p201	
前期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	試験対策	試験対策		
前期考查・課題等			該当ページ	該当ページ
後期	項目			
前期	試験	レポート①～③		
単位認定試験・課題等			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	試験対策	試験対策		
単位認定試験			教科書	学習書
後期	項目	内容	該当ページ	該当ページ
後期	単位認定試験	レポート④～⑥		

学習の成果に係る 評価・単位認定基準		留意点
評価	知識・技能	思考・判断・表現
	主体的に学習に取り組む態度	
A	考查・課題等において、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	レポートにおいて、全体的に優秀な成績を収めるなど、思考・判断し、表現できている。
B	考查・課題等において、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	レポートにおいて、概ね合格とする基準を上回る程度にできており、思考・判断し、表現できている。
C	考查・課題等において、知識・技能の定着にさらなる努力を要する。	レポートにおいて、ある程度の基準を満たしているが、さらに努力を要する。

教科	科目	略称	単位数	履修上の留意点			担当者
国語	言語文化	言文	2	必履修科目です。教科書を存分に用いて学習しましょう。			北村
教科書発行者	東京書籍	番号	言文	002-901	教科書名	新編言語文化	
修得条件	提出レポート数	6	考査・課題	考査	出席必要回数/スクーリング回数		1 / 2
指導目標				メディア視聴	任意参考	メディア減免	6割を上限
古典と近代以降の文学にふれ、基本的な語彙を豊かにするとともに、日本の伝統的な言語文化を尊重する態度を養う。							

年 間 指 導 計 画

レポート			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	随筆	「さくらさくらさくら」を読み、語彙を豊かにし、短歌の魅力を知る。	10～35	
2	詩歌	短歌や俳句に触れ、それぞれの形式や技法を理解する。	54～61	
3	小説	「羅生門」を読み、語彙を豊かにし、登場人物の心情を理解する。	76～96	
4	詩歌	和歌に触れ、文語の特徴や意味を理解し、和歌の歴史を知る。	154～176	
5	物語 紀行	「伊勢物語」と「奥の細道」を読み、文語の特徴や意味を理解し、当時の文化に触れる。	178～186 198～206	
6	漢文	漢文訓読の規則を理解し、現代に通ずる故事成語について理解する。	218～254	
前期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	小説	描かれている内容から主題を読み取り、小説を味わう。	76～89	
前期考査・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
前期	随筆 詩歌 小説	スクーリングの講義内容とレポート第1～3回の内容		
後期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	物語	古文の表現に触れ、文章から登場人物の心情を読み取る。	178～186	
単位認定試験・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
後期	詩歌 物語 紀行 漢文	スクーリングの講義内容とレポート第4～6回の内容		

学習の成果に係る 評価・単位認定基準		留意点
		レポートに未記入等の不備がある場合や正答率が26%未満の場合は、不合格として再提出。 レポートの提出が締切期限外・再提出がされない場合は、最高点を26点とする。 スクーリング出席率60%以上、全レポート合格、単位認定試験（後期考査）受験が単位認定の条件
評価	知識・技能	思考・判断・表現
A	考査・課題等において、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	レポートにおいて、全体的に優秀な成績を収めるなど、思考・判断し、表現できている。
B	考査・課題等において、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	レポートにおいて、概ね合格とする基準を上回る程度にできており、思考・判断し、表現できている。
C	考査・課題等において、知識・技能の定着にさらなる努力を要する。	レポートにおいて、ある程度の基準を満たしているが、さらに努力を要する。

教科	科目	略称	単位数	履修上の留意点			担当者
国語	文学国語	文国	4	スクーリングは教科書を使用するので忘れず持参すること。			東
教科書発行者	第一学習社	番号	文国	710	教科書名	高等学校 標準文学国語	
修得条件	提出レポート数	12	考查・課題	考查	出席必要回数/スクーリング回数		2 / 4
指導目標			メディア視聴	任意参考	メディア減免	6割を上限	
文学的な文章を通じて、人間の在り方や生き方、感情の機微を深く読み取り、自らの考えを広げること							

年 間 指 導 計 画

レポート			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	現代の小説	「調律師のみみ子さん」 いしい しんじ	10～15	
2	現代の詩	「生命は」 吉野 弘	30～33	
3	現代の小説	「相棒」 内海隆一郎	42～52	
4	随想（芸術）	「真珠の耳飾りの少女」 原田 マハ	77～86	
5	近代の小説	「鼻」 芥川龍之介	92～105	
6	戦争と文学	「バグダッドの靴磨き」 米原 万里	138～151	
7	現代の小説	「富嶽百景」 中島 京子	178～191	
8	近代の小説	「山月記」 中島 敦	194～207	
9	近代の詩	「こころ」 萩原朔太郎	222～230	
10	現代の小説	「卒業」 魚住 直子	232～246	
11	戦争と文学	「血であがなったもの」 大田 昌秀	266～284	
12	現代の小説	「ナイン」 井上ひさし	53～67	
前期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	現代の小説	「調律師のみみ子さん」 いしい しんじ	10～15	
2	近代の小説	「鼻」 芥川龍之介	92～105	
前期考查・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
前期	近代・現代の小説	スクーリング・レポート第1・5回目が中心	10～15/92～105	
後期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	近代の小説	「山月記」 中島 敦	194～207	
2	近代の詩	「永訣の朝」 宮沢賢治	222～230	
単位認定試験・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
後期	近代の小説・近代の詩	スクーリング・レポート第8・9回目が中心	194～207/222～230	

学習の成果に係る 評価・単位認定基準		留意点
評価	知識・技能	思考・判断・表現
	主体的に学習に取り組む態度	
A	考查・課題等において、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	レポートにおいて、全体的に優秀な成績を収めるなど、思考・判断し、表現できている。
B	考查・課題等において、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	レポートにおいて、概ね合格とする基準を上回る程度にできており、思考・判断し、表現できている。
C	考查・課題等において、知識・技能の定着にさらなる努力を要する。	レポートにおいて、ある程度の基準を満たしているが、さらに努力を要する。

教科	科目	略称	単位数	履修上の留意点			担当者
国語	国語表現	国表	4	スクーリングは教科書を使用するので忘れず持参すること。 前期と後期の試験については教科書プリント持ち込み不可。			原子
教科書発行者	大修館書店	番号	国表	701	教科書名	国語表現	
修得条件	提出レポート数	12	考查・課題	考查	出席必要回数/スクーリング回数	2 / 4	
指導目標			メディア視聴	任意参考	メディア減免	6割を上限	
国語で適切かつ効果的に文章で表現する能力を育成し、文章を通して情報を得たり、伝えたりする力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、文章で表現することによって国語の向上や現代社会の抱える課題について考えようとする態度を育てる。							

年 間 指 導 計 画

レポート			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	言葉と表現	用字・用語を正確に表し、言葉の意味や正しい使い方を学び、正しいコミュニケーションを身につける。	12~15	
2	整った文を書く	自分のことについてテーマを決め、「原稿用紙の書き方」を参考に、文章能力を養う。	16~17	
3	相手に応じた言葉遣い	より良い人間関係構築のために、場面に応じた言葉・敬語表現について理解を深める。	18~21	
4	わかりやすい文を書く	自分の意見を筋道を立てて展開するために、文章の「型づくり」を身につける。	22~25	
5	会話の中の漢語・絵や写真を見て書く	絵や写真を用いて相手に伝わるように書く練習に取り組む。	28,42~45	
6	マイニュース記事を書く	わかりやすく、正確に伝えるための基本的なトレーニングをする。	46~47	
7	小論文を書く	小論文の定義について理解し、筋道を立てて自分の意見を書く	54~61	
8	文章を読み取って書く	資料など課題文を読み取り小論文を書く	62~65	
9	発想を広げて書く	一つのテーマに対して幅広く発想をし書く	70~73	
10	通信文を書き分ける	礼状や案内状、依頼状など様々な通信文を知り、書き方を学ぶ	128~133	
11	ネット社会との向き合い方	ネットの注意点や危険性を学ぶ	140~141	
12	相手や場面に応じた会話	場面に応じた言葉遣いを知り、場面に応じた話し方を学ぶ	152~155	
前期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	言葉と表記	前期1~6のレポート解説 言葉の意味や正しい使い方を学び、正しいコミュニケーションを身につける。	12~15	
2	整った文を書く	前期1~6のレポート解説 自分のことについてテーマを決め、「原稿用紙の書き方」を参考に、文章能力を養う。	16~17	
前期考查・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
前期	言葉と表記/作文	仮名遣い、呼応の副詞、接続詞、作文	12~17	
後期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	相手に応じた言葉遣い	後期7~12のレポート解説 より良い人間関係構築のために、場面に応じた言葉・敬語表現について理解を深める。	18~21, 128~133	
2	わかりやすい文を書く	後期7~12のレポート解説 自分の意見を筋道を立てて展開するために、文章の「型づくり」を身につける。	22~25, 54~61	
単位認定試験・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
後期	相手に応じた言葉遣い/小論文	小論文の定義、場面に応じた言葉遣い、小論文	18~23	

学習の成果に係る 評価・単位認定基準		留意点
		レポートに未記入等の不備がある場合や正答率が26%未満の場合は、不合格として再提出。 レポートの提出が締切期限外・再提出がされない場合は、最高点を26点とする。 スクーリング出席率60%以上、全レポート合格、単位認定試験（後期考查）受験が単位認定の条件
評価	知識・技能	思考・判断・表現
A	考查・課題等において、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	レポートにおいて、全体的に優秀な成績を収めるなど、思考・判断し、表現できている。
B	考查・課題等において、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	レポートにおいて、概ね合格とする基準を上回る程度にできており、思考・判断し、表現できている。
C	考查・課題等において、知識・技能の定着にさらなる努力を要する。	レポートにおいて、ある程度の基準を満たしているが、さらに努力を要する。
		主体的に学習に取り組む態度
		多くの割合において、スクーリングに出席し、主体的・計画的に粘り強く取り組む努力が認められる。
		スクーリングにおいて、主体的・計画的に関わろうとする姿勢がやや見られる。

教科	科目	略称	単位数	履修上の留意点			担当者
国語	古典探究	古探	4				牧野
教科書発行者	第一学習社	番号	古探	720	教科書名	高等学校 標準古典探究	
修得条件	提出レポート数	12	考查・課題	考查	出席必要回数/スクーリング回数	2 / 4	
指導目標				メディア視聴	任意参考	メディア減免	6割を上限
古典作品の読解（古文・漢文）を通じて、我が国の伝統的な言語文化への理解と関心を深め、自己の生き方や社会への洞察力を養う。							

年間指導計画

レポート			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	古文・説話（一）	『古本説話集』「平中が事」	P12～P13	P10～P13
2	古文・物語（一）	『伊勢物語』「初冠」	P36～P37	P50～P54
3	古文随筆（一）	『方丈記』「ゆく川の流れ」	P28～P29	P40～P45
4	古文・日記	『更科日記』「門出」	P112～P113	P173～P176
5	漢文・故事寓話	「助長」「嬰逆鱗」	P140～P141	P214～P218
6	古文・随筆（一）	『徒然草』「奥山に、猫またといふものありて」	P22～P23	P29～P32
7	古文・説話（一）	『十訓抄』「文字一つの返し」	P14～P15	P14～P18
8	古文・随筆（二）	『徒然草』「すさまじきもの」	P64～P65	P97～P101
9	古文・日記	『蜻蛉日記』「泔坏の水」	P108～P109	P165～P169
10	古文・評論	『玉勝間』「兼好法師が詞のあげつらひ」	P136～P137	P209～P212
11	漢文・故事寓話	「画竜点睛」「推敲」	P142～P143	P219～P224
12	漢文・逸話	「宋人有嫁子者」	P182～P183	P295～P298
前期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	前期試験対策	レポート1～3復習	P12～P29	P10～P45
2	前期試験対策	レポート4～6復習	P112～P141・P22	P173～P218
前期考查・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
前期		レポート1～6	P12～P141	
後期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	単位認定試験対策	レポート7～9復習	P14～P109	P14～P169
2	単位認定試験対策	レポート10～12復習	P136～P183	P209～P298
単位認定試験・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
後期		レポート7～12	P14、P64～P183	

学習の成果に係る 評価・単位認定基準		留意点
		レポートに未記入等の不備がある場合や正答率が26%未満の場合は、不合格として再提出。 レポートの提出が締切期限外・再提出がされない場合は、最高点を26点とする。 スクーリング出席率60%以上、全レポート合格、単位認定試験（後期考查）受験が単位認定の条件
評価	知識・技能	思考・判断・表現
A	考查・課題等において、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	レポートにおいて、全体的に優秀な成績を収めるなど、思考・判断し、表現できている。
B	考查・課題等において、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	レポートにおいて、概ね合格とする基準を上回る程度にできており、思考・判断し、表現できている。
C	考查・課題等において、知識・技能の定着にさらなる努力を要する。	レポートにおいて、ある程度の基準を満たしているが、さらに努力を要する。

教科	科目	略称	単位数	履修上の留意点			担当者
地理歴史	地理総合	地総	2	一緒に様々な方法で世界の様子（地理）を学びましょう。			山階
教科書発行者	帝国書院	番号	地総	046-901	教科書名	高等学校 新地理総合	
修得条件	提出レポート数	6	考查・課題	考查	出席必要回数/スクーリング回数	1 / 2	
指導目標				メディア視聴	任意参考	メディア減免	6割を上限
<p>・現代世界の地図について、どのような技術を利用してつくられているかをとらえる。</p> <p>・球体としての地球の特徴をとらえ、緯度・経度の違いによって時差や気候に違いが生じるメカニズムを考察する。各地域の文化に触れる。</p>							

年 間 指 導 計 画

レポート			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	第1回	緯度・経度, 地球儀, 地図・GIS, 国境・領域	p6~p42	×
2	第2回	地形・変動体, 地震・火山, 河川の地形, 海の地形, 植生	p44~p83	×
3	第3回	言語・民族・宗教・文化, 西・中央アフリカ, ロシア, EU	p84~p134	×
4	第4回	経済格差, 環境問題, エネルギー資源, 世界の人口	p135~p182	×
5	第5回	プレート・山地・河川・平野, 時事問題	p183~p201	×
6	第6回	火山災害, 気象災害, 水害, 台風, 雪害, 復旧・復興	p202~p227	×
前期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	スクーリング①	アジア・アフリカ, ヨーロッパ・アメリカ	p6~p134	×
前期考查・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
前期	レポート第1回~第3回の範囲	レポートの内容に準拠	p6~p134	×
後期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	スクーリング②	気候区分, 資源と産業	p135~p227	×
単位認定試験・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
後期	レポート第4回~第6回の範囲	レポートの内容に準拠	p135~p227	×

学習の成果に係る 評価・単位認定基準		留意点		
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
A	考查・課題等において、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	レポートにおいて、全体的に優秀な成績を収めるなど、思考・判断し、表現できている。	多くの割合において、スクーリングに出席し、主体的・計画的に粘り強く取り組む努力が認められる。	
B	考查・課題等において、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	レポートにおいて、概ね合格とする基準を上回る程度にできており、思考・判断し、表現できている。	スクーリングにおいて、主体的・計画的に関わりようとする姿勢がやや見られる。	
C	考查・課題等において、知識・技能の定着にさらなる努力を要する。	レポートにおいて、ある程度の基準を満たしているが、さらに努力を要する。		

教科	科目	略称	単位数	履修上の留意点			担当者
地理歴史	地理探究	地探	3				池邊
教科書発行者	帝国書院	番号	地探	702	教科書名	新詳地理探究	
修得条件	提出レポート数	9	考查・課題	考查	出席必要回数/スクーリング回数	2 / 3	
指導目標				メディア視聴	任意参考	メディア減免	6割を上限

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

年 間 指 導 計 画

レポート			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	第1部1章自然環境	地形、気候	p.5～p.41	
2	第1部1章自然環境	気候、日本の自然環境、地球環境問題	p.42～p.79	
3	第1部2章資源と産業	農林水産業、食料問題、エネルギー・鉱産資源	p.80～p.115	
4	第1部2章資源と産業、3章交通通信観光	資源・エネルギー問題、工業、第3次産業、交通・通信	p.116～p.153	
5	第1部3章交通通信観光、4章人口村落都市	観光、貿易と経済圏、人口、人口問題、村落と都市、都市・居住問題	p.154～p.197	
6	第1部5章生活文化民族宗教	衣食住、民族・宗教と民族問題、国家の領域と領土問題	p.198～p.227	
7	第2部2章現代世界の諸地域	中国、韓国、ASEAN諸国、インド、西アジアと中央アジア	p.228～p.267	
8	第2部2章現代世界の諸地域	アフリカ、EU諸国、ロシア、アメリカ合衆国	p.268～p.307	
9	第2部2章現代世界の諸地域、3章持続可能な国土像	ラテンアメリカ、オーストラリアとニュージーランド、将来の国土のあり方	p.308～p.335	
前期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	第1部1章自然環境	世界の気候区分	p.32～p.61	
前期考查・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
前期	第1部	レポート1回～4回から出題	p.5～p.153	
後期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	第2部2章現代世界の諸地域	中国	p.228～p.237	
2	第2部2章現代世界の諸地域	アメリカ合衆国	p.296～p.307	
単位認定試験・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
後期	第1部、第2部、第3部	レポート5回～9回から出題	p.154～p.335	

学習の成果に係る 評価・単位認定基準		留意点
評価	知識・技能	思考・判断・表現
	主体的に学習に取り組む態度	
A	考查・課題等において、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	レポートにおいて、全体的に優秀な成績を収めるなど、思考・判断し、表現できている。
B	考查・課題等において、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	レポートにおいて、概ね合格とする基準を上回る程度にできており、思考・判断し、表現できている。
C	考查・課題等において、知識・技能の定着にさらなる努力を要する。	レポートにおいて、ある程度の基準を満たしているが、さらに努力を要する。

教科	科目	略称	単位数	履修上の留意点			担当者
地理歴史	歴史総合	歴総	2				藤井 謙
教科書発行者	東京書籍	番号	歴総	002-901	教科書名	歴史総合	
修得条件	提出レポート数	6	考查・課題	考查	出席必要回数/スクーリング回数	1 / 2	
指導目標				メディア視聴	任意参考	メディア減免	6割を上限
近現代の成り立ちを、「近代化」「国際秩序の変化」「大衆化」という大きな視点から理解させ、現代の諸課題を歴史的背景から考察する力をつける。							

年 間 指 導 計 画

レポート			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	世界と日本の結びつき	明治維新によって、鎖国が終わり、世界と結びついた日本	7～51	
2	国民国家と明治維新	日本のナショナリズムについて	52～83	
3	第一次世界大戦	国際秩序の変化について（欧米列強の仲間入り）	84～111	
4	経済危機と第二次世界大戦	国際協調体制の崩壊と日本について	112～141	
5	冷戦と世界経済	冷戦の拡大と第三勢力の誕生について	142～169	
6	世界秩序の変容と日本	世界秩序の変容と日本の立場について	170～197	
前期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	明治維新と近代国家建設	明治維新による日本の変容について		
前期考查・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
前期	明治維新から第一次大戦まで	日本の近代国家建設から、世界大戦に及ぶ歩みについて	8～111	
後期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	第一次世界大戦と日本	帝国主義諸国の仲間入りをした日本の動きについて		
単位認定試験・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
後期	第二次大戦とその後の世界秩序	第二次大戦とその後の世界体制の変容について	112～191	

学習の成果に係る 評価・単位認定基準		留意点
評価	知識・技能	思考・判断・表現
	主体的に学習に取り組む態度	
A	考查・課題等において、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	レポートにおいて、全体的に優秀な成績を収めるなど、思考・判断し、表現できている。
B	考查・課題等において、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	レポートにおいて、概ね合格とする基準を上回る程度にできており、思考・判断し、表現できている。
C	考查・課題等において、知識・技能の定着にさらなる努力を要する。	レポートにおいて、ある程度の基準を満たしているが、さらに努力を要する。

教科	科目	略称	単位数	履修上の留意点			担当者
地理歴史	日本史探究	日探	3				池邊
教科書発行者	東京書籍	番号	日探	701	教科書名	日本史探究	
修得条件	提出レポート数	9	考查・課題	考查	出席必要回数/スクーリング回数	2 / 3	
指導目標				メディア視聴	任意参考	メディア減免	6割を上限
ふだん社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。							

年 間 指 導 計 画

レポート			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	第1編先史・古代	旧石器時代、縄文時代、弥生時代、古墳時代、飛鳥時代	p.5～p.41	
2	第1編先史・古代、第2編中世	奈良時代、平安時代	p.42～p.79	
3	第2編中世	鎌倉時代、室町時代	p.80～p.115	
4	第3編近世	室町時代、江戸時代	p.116～p.153	
5	第3編近世	江戸時代	p.154～p.197	
6	第3編近世、第4編近現代	明治時代	p.198～p.227	
7	第4編近現代	明治時代、大正時代、昭和時代	p.228～p.267	
8	第4編近現代	昭和時代、平成時代	p.268～p.307	
9	第4編近現代	現代の日本	p.308～p.335	
前期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	第1編先史・古代	更新世の日本・縄文時代・弥生文化	p.5～p.17	
前期考查・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
前期	第1編先史・古代～第3編近世	旧石器、縄文、弥生、古墳、飛鳥、奈良、平安、室町、江戸	p.5～p.153	
後期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	第2編中世	鎌倉時代	p.80～p.93	
2	第3編近世	安土桃山時代、江戸時代	p.128～191	
単位認定試験・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
後期	第3編近世、第4編近現代	江戸、明治、大正、昭和	p.154～p.335	

学習の成果に係る 評価・単位認定基準		留意点
評価	知識・技能	思考・判断・表現
	主体的に学習に取り組む態度	
A	考查・課題等において、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	レポートにおいて、全体的に優秀な成績を収めるなど、思考・判断し、表現できている。
B	考查・課題等において、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	レポートにおいて、概ね合格とする基準を上回る程度にできており、思考・判断し、表現できている。
C	考查・課題等において、知識・技能の定着にさらなる努力を要する。	レポートにおいて、ある程度の基準を満たしているが、さらに努力を要する。

教科	科目	略称	単位数	履修上の留意点			担当者
公民	公共	公共	2				藤井 謙
教科書発行者	東京書籍	番号	公共	002-901	教科書名	公共	
修得条件	提出レポート数	6	考査・課題	考査	出席必要回数/スクーリング回数		1 / 2
指導目標				メディア視聴	任意参考	メディア減免	6割を上限
自立した主体として、持続可能な社会の形成に参画する力を養う。							

年 間 指 導 計 画

レポート			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	社会の中の自己とその在り方	公共の社会で自分がどのように生きていくべきかを考える	7～35	
2	民主政治と私たち	民意を反映した政治を実現するにはどうすべきなのかを考える	36～83	
3	法の働きと私たち	法は私たちの生活にどのように関わっているかを考える	84～111	
4	経済社会で生きる私たち	公正で自由な経済活動のために政府の役割はどうあるべきか	112～145	
5	私たちの職業生活	これからの時代の職業選択をどのように考えれば良いのか	146～173	
6	持続可能な社会づくりへの参画	SDGsの達成に向けてどのように取り組めば良いのか	174～212	
前期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	共に生きるための倫理	生命倫理について考える	26	
前期考査・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
前期	公共のとびら/自立した主体	公共的な空間に生きる。自立した主体として社会に参画する。	8～108	
後期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	物価高と生活	現代の経済と市場	118	
単位認定試験・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
後期	経済社会に生きる/SDGs	市場経済・職業生活・国際社会に生きる/持続可能な社会	112～234	

学習の成果に係る 評価・単位認定基準		留意点
評価	知識・技能	思考・判断・表現
	主体的に学習に取り組む態度	
A	考査・課題等において、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	レポートにおいて、全体的に優秀な成績を収めるなど、思考・判断し、表現できている。
B	考査・課題等において、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	レポートにおいて、概ね合格とする基準を上回る程度にできており、思考・判断し、表現できている。
C	考査・課題等において、知識・技能の定着にさらなる努力を要する。	レポートにおいて、ある程度の基準を満たしているが、さらに努力を要する。

教科	科目	略称	単位数	履修上の留意点			担当者
公民	倫理	倫理	2				玉川 めぐみ
教科書発行者	東京書籍	番号	倫理	701	教科書名	倫理	
修得条件	提出レポート数	6	考查・課題	考查	出席必要回数/スクーリング回数	1 / 2	
指導目標				メディア視聴	任意参考	メディア減免	6割を上限
人間としてどう生きるかを、多様な思想や価値観を通して考え、自分なりの生き方や社会との関わり方を主体的に考える力を育てる							

年 間 指 導 計 画

レポート			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	人間の心の在り方、さまざまな倫理観、人生観	人間とは何か、人間の心の働き、哲学すること、ギリシア思想	P8～P42	
2	さまざまな倫理観、人生観、世界観	宗教と社会、世界3大宗教、中国の思想	P43～P81	
3	さまざまな倫理観、人生観、世界観	近代の精神、近代思想の展開、人格と人倫の思想、理性への疑念	P82～P120	
4	国際社会に生きる日本人としての自覚	他者・自然とのかかわり、日本人の精神風土	P121～P156	
5	国際社会に生きる日本人としての自覚	仏教と日本人の思想形成、儒教と日本人の思想形成、国学	P157～P198	
6	現代の諸課題と倫理	生命、自然、科学技術、福祉、文化と宗教、戦争と平和	P199～P235	
前期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	人間の心の在り方、さまざまな倫理観、人生観	人間とは何か、人間の心の働き、哲学すること、ギリシア思想	P8～P42	
前期考查・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
前期	人間の心の在り方、さまざまな倫理観、人生観	人間とは何か、人間の心の働き、哲学すること、ギリシア思想 宗教と社会、世界3大宗教、中国の思想	P8～P81	
後期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	現代の諸課題と倫理	生命、自然、科学技術、福祉、文化と宗教、戦争と平和	P199～P235	
単位認定試験・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
後期	現代の諸課題と倫理 国際社会を生きる日本人としての自覚	生命、自然、科学技術、福祉、文化と宗教、戦争と平和 仏教と日本人の思想形成、儒教と日本人の思想形成、国学	P157～P235	

学習の成果に係る 評価・単位認定基準		留意点
評価	知識・技能	思考・判断・表現
	主体的に学習に取り組む態度	
A	考查・課題等において、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	レポートにおいて、全体的に優秀な成績を取めるなど、思考・判断し、表現できている。
B	考查・課題等において、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	レポートにおいて、概ね合格とする基準を上回る程度にできており、思考・判断し、表現できている。
C	考查・課題等において、知識・技能の定着にさらなる努力を要する。	レポートにおいて、ある程度の基準を満たしているが、さらに努力を要する。

教科	科目	略称	単位数	履修上の留意点			担当者
公民	政治・経済	政経	2				玉川 めぐみ
教科書発行者	東京書籍	番号	政経	701	教科書名	政治・経済	
修得条件	提出レポート数	6	考査・課題	考査	出席必要回数/スクーリング回数	1 / 2	
指導目標				メディア視聴	任意参考	メディア減免	6割を上限
社会の仕組みを理解する。現代社会の課題を主体的に考える。主権者として判断する力を育てる。							

年 間 指 導 計 画

レポート			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	民主主義の基本原理解 日本国憲法の基本原理解	民主政治の成立 基本的人権 日本国憲法 基本的人権	P4～P47	
2	日本の政治機構 現代政治の特質	国会 内閣 裁判所 地方自治 戦後政治と政党 選挙 世論	P48～P79	
3	現代の資本主義経済 現代経済のしくみ	経済主体 市場経済の機能 経済成長 金融のしくみ	P80～P118	
4	日本経済の発展と現状と課題	公害と環境 農業・食料問題 情報化の進展 消費者問題	P119～P155	
5	現代日本の諸課題 国際政治	国際政治のしくみ 複雑化する国際政治と日本	P156～P203	
6	現代の国際経済 国際社会の諸課題	国民経済と国際経済 世界経済の現状と課題	P204～P254	
前期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	民主主義の基本原理解 日本国憲法の基本原理解	民主政治の成立 基本的人権 日本国憲法 基本的人権	P4～P47	
前期考査・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
前期	民主主義の基本原理解 日本国憲法の基本原理解 日本の政治経済 現代政治の特質	民主政治の成立 基本的人権 日本国憲法 基本的人権 三権分立 地方自治 政党政治 選挙 世論	P4～P79	
後期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	日本経済の発展と現状と課題	公害と環境 農業・食料問題 情報化の進展 消費者問題	P119～P155	
単位認定試験・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
後期	日本経済の発展と現状と課題	公害と環境 農業・食料問題 情報化の進展 消費者問題 中小企業の現状と課題 雇用と労働問題 社会保障と福祉	P119～P155	

学習の成果に係る 評価・単位認定基準		留意点
評価	知識・技能	思考・判断・表現
	主体的に学習に取り組む態度	
A	考査・課題等において、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	レポートにおいて、全体的に優秀な成績を収めるなど、思考・判断し、表現できている。
B	考査・課題等において、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	レポートにおいて、概ね合格とする基準を上回る程度にできており、思考・判断し、表現できている。
C	考査・課題等において、知識・技能の定着にさらなる努力を要する。	レポートにおいて、ある程度の基準を満たしているが、さらに努力を要する。

教科	科目	略称	単位数	履修上の留意点			担当者
数学	数学I	数I	3				加藤 玲
教科書発行者	東京書籍	番号	数I	002-905 (002-906)	教科書名	改訂版 新数学 I (解答編)	
修得条件	提出レポート数	9	考查・課題	考查	出席必要回数/スクーリング回数	2 / 3	
指導目標				メディア視聴	任意参考	メディア減免	6割を上限
<p>二次関数の解析を通じて事象の動的な変化や最大・最小を捉える力を養い、グラフと方程式・不等式の関係を深く理解する。 また、三角比の性質を通じて図形の計量や空間の広がり捉える力を養い、図形的な性質と代数的な計算の関係を深く理解する。</p>							

な

年間指導計画

レポート			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	第1章 数と式	文字と式、実数、方程式と不等式	36～66	
2	第1章 数と式	方程式と不等式	68～72	
3	第2章 2次関数	2次関数とそのグラフ	77～87	
4	第2章 2次関数	2次関数とそのグラフ、2次関数の値の変化	89～101	
5	第3章 三角比	鋭角の三角比	107～113	
6	第3章 三角比	鋭角の三角比、三角比の応用	115～121	
7	第3章 三角比	三角比の応用	117～126	
8	第4章 データの分析	データの分析	133～141	
9	第5章 集合と論証	集合と論証	150～156	
前期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	第1章 数と式	文字と式、実数、方程式と不等式	36～66	
2	第1章 数と式	方程式と不等式	68～72	
前期考查・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
前期	第1章 数と式	文字と式、実数、方程式と不等式	36～66	
後期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	第2章 2次関数	2次関数とそのグラフ、2次関数の値の変化	77～101	
2	第3章 三角比	鋭角の三角比、三角比の応用	107～126	
単位認定試験・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
後期	第2章 2次関数、第3章 三角比	2次関数とそのグラフ、値の変化、鋭角の三角比、三角比の応用	77～126	

学習の成果に係る 評価・単位認定基準		留意点
評価	知識・技能	思考・判断・表現
	主体的に学習に取り組む態度	
A	考查・課題等において、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	レポートにおいて、全体的に優秀な成績を取めるなど、思考・判断し、表現できている。
B	考查・課題等において、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	レポートにおいて、概ね合格とする基準を上回る程度にできており、思考・判断し、表現できている。
C	考查・課題等において、知識・技能の定着にさらなる努力を要する。	レポートにおいて、ある程度の基準を満たしているが、さらに努力を要する。

教科	科目	略称	単位数	履修上の留意点			担当者
数学	数学II	数II	4				古田 和幸
教科書発行者	東京書籍	番号	数II	717 (718)	教科書名	新数学Ⅱ (解答編)	
修得条件	提出レポート数	12	考查・課題	考查	出席必要回数/スクーリング回数	2 / 4	
指導目標				メディア視聴	任意参考	メディア減免	6割を上限
複素数や指数・対数の考え方が人間生活にどう関わっているかを理解し、視野を広げる 微分・積分の意義を理解し、それらの計算を通じて、二つに共通する性質（線形性）を体得する							

年 間 指 導 計 画

レポート			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	第1章 方程式・式と証明	3乗の展開, 3次式の因数分解, 分数式の四則	4,5,8~11	
2	第1章 方程式・式と証明	複素数の性質・計算	12~15	
3	第1章 方程式・式と証明	2次方程式の解の公式, 判別式, 解と係数の関係, 相加相乗平均	16~18, 30	
4	第1章 方程式・式と証明	多項式のわり算, 剰余の定理・因数定理	20~23	
5	第2章 図形と方程式	2点間の距離, 内分・外分点	34~39	
6	第2章 図形と方程式	直線の方程式, 円の方程式	45~53	
7	第3章 三角関数	三角関数の性質・加法定理, 弧度法	68,70,71,76~79,82	
8	第4章 指数関数と対数関数	指数の計算, 指数法則, 累乗根	86~91	
9	第4章 指数関数と対数関数	対数の性質, 対数の計算, 桁数を求める	96~99, 102,103	
10	第5章 微分と積分	関数の値, 極限值, 導関数(微分)	106~113	
11	第5章 微分と積分	関数の増減, グラフの極大・極小	116~121	
12	第5章 微分と積分	(不) 定積分	124~129	
前期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	第1章 方程式・式と証明	複素数の計算, 2次方程式の解の公式, 解と係数の関係	12~19	
2	第1章 方程式・式と証明	多項式のわり算(組立除法), 因数分解, 剰余の定理	20~23	
前期考查・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
前期	第1章 方程式・式と証明	複素数の計算, 解の公式, 解と係数の関係, 多項式のわり算	12~23	
後期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	第4章 指数関数と対数関数	指数・対数・累乗根の計算	86~91, 97~99	
2	第5章 微分と積分	微分・不定積分の計算	113, 124~127	
単位認定試験・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
後期	第4章・第5章	指数・対数・累乗根の計算, 微分・不定積分の計算	86~91, 97~99 113, 124~127	

学習の成果に係る 評価・単位認定基準		留意点
評価	知識・技能	思考・判断・表現
	主体的に学習に取り組む態度	
A	考查・課題等において、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	レポートにおいて、全体的に優秀な成績を収めるなど、思考・判断し、表現できている。
B	考查・課題等において、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	レポートにおいて、概ね合格とする基準を上回る程度にできており、思考・判断し、表現できている。
C	考查・課題等において、知識・技能の定着にさらなる努力を要する。	レポートにおいて、ある程度の基準を満たしているが、さらに努力を要する。

教科	科目	略称	単位数	履修上の留意点			担当者
数学	数学A	数A	2				野月 光則
教科書発行者	東京書籍	番号	数A	002-905 (002-906)	教科書名	改訂版 新数学A (同 解答編)	
修得条件	提出レポート数	6	考查・課題	考查	出席必要回数/スクーリング回数	1 / 2	
指導目標				メディア視聴	任意参考	メディア減免	6割を上限
場合の数と確率, 図形の性質について理解させ, 基礎的な知識の習得を図り, 数学のよさを認識できるようにする。							

年 間 指 導 計 画

レポート			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	1章 場合の数と確率	1節 場合の数	4~21	
2	1章 場合の数と確率	2節 確率 ①事象と確率~⑤独立な試行の確率	22~31	
3	1章 場合の数と確率	2節 確率 ⑥反復試行の確率~⑧期待値	32~37	
4	2章 図形の性質	1節 平面図形の基礎 ①直線と角~③三角形の合同と相似	40~45	
5	2章 図形の性質	2節 三角形の性質	50~57	
6	2章 図形の性質	3節 円の性質 ①円の接線~⑤方べきの定理	58~68	
前期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	1章 場合の数と確率	1節場合の数, 2節確率①~⑤	4~31	
前期考查・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
前期	1章 場合の数と確率	1節場合の数, 2節確率①~⑤	4~31	
後期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	2章 図形の性質	1節平面図形の基礎①②, 2節三角形の性質	40~43, 50~57	
単位認定試験・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
後期	2章 図形の性質	1節平面図形の基礎①②, 2節三角形の性質	40~43, 50~57	

学習の成果に係る 評価・単位認定基準		留意点
		レポートに未記入等の不備がある場合や正答率が26%未満の場合は、不合格として再提出。 レポートの提出が締切期限外・再提出がされない場合は、最高点を26点とする。 スクーリング出席率60%以上, 全レポート合格, 単位認定試験(後期考查)受験が単位認定の条件
評価	知識・技能	思考・判断・表現
A	考查・課題等において、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	レポートにおいて、全体的に優秀な成績を収めるなど、思考・判断し、表現できている。
B	考查・課題等において、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	レポートにおいて、概ね合格とする基準を上回る程度にできており、思考・判断し、表現できている。
C	考查・課題等において、知識・技能の定着にさらなる努力を要する。	レポートにおいて、ある程度の基準を満たしているが、さらに努力を要する。

教科	科目	略称	単位数	履修上の留意点			担当者
数学	数学B	数B	2				野月 光則
教科書発行者	実教出版	番号	数B	706	教科書名	高校数学B	
修得条件	提出レポート数	6	考查・課題	考查	出席必要回数/スクーリング回数	1 / 2	
指導目標				メディア視聴	任意参考	メディア減免	6割を上限
数列, 統計的な推測について理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 数学のよさを認識できるようにする。							

年 間 指 導 計 画

レポート			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	1章 数列	1節 数列とその和 ①, ②	4~13	
2	1章 数列	1節 数列とその和③, 2節 いろいろな数列①	14~18, 20~25	
3	1章 数列	2節 いろいろな数列②, 3節 漸化式と数学的帰納法①	26~28, 30~33	
4	2章 統計的な推測	1節 確率変数と確率分布①, ②1・2	38~45	
5	2章 統計的な推測	1節 確率変数と確率分布②3・4, ③	46~53	
6	2章 統計的な推測	3節 統計的な推測①, ②1	64~67	
前期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	1章 数列	1節 数列とその和 ~ 3節 漸化式と数学的帰納法①	4~33	
前期考查・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
前期	1章 数列	1節 数列とその和 ~ 3節 漸化式と数学的帰納法①	4~33	
後期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	2章 統計的な推測	1節 確率変数と確率分布 3節 統計的な推測①・②1	38~53, 64~67	
単位認定試験・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
後期	2章 統計的な推測	1節 確率変数と確率分布 3節 統計的な推測①・②1	38~53, 64~67	

学習の成果に係る 評価・単位認定基準		留意点
		レポートに未記入等の不備がある場合や正答率が26%未満の場合は、不合格として再提出。 レポートの提出が締切期限外・再提出がされない場合は、最高点を26点とする。 スクーリング出席率60%以上、全レポート合格、単位認定試験（後期考查）受験が単位認定の条件
評価	知識・技能	思考・判断・表現
A	考查・課題等において、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	レポートにおいて、全体的に優秀な成績を収めるなど、思考・判断し、表現できている。
B	考查・課題等において、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	レポートにおいて、概ね合格とする基準を上回る程度にできており、思考・判断し、表現できている。
C	考查・課題等において、知識・技能の定着にさらなる努力を要する。	レポートにおいて、ある程度の基準を満たしているが、さらに努力を要する。

教科	科目	略称	単位数	履修上の留意点			担当者
数学	数学C	数C	2				古田 和幸
教科書発行者	第一学習社	番号	数C	713	教科書名	新編 数学C	
修得条件	提出レポート数	6	考查・課題	考查	出席必要回数/スクーリング回数	1 / 2	
指導目標				メディア視聴	任意参考	メディア減免	6割を上限
ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面の基本的な概念や原理・法則を理解する。 大きさと向きをもった量に着目し, 演算法則やその図形的な意味を考察する力を身につける。							

年 間 指 導 計 画

レポート			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	第1章 平面上のベクトル	ベクトルの定義, ベクトルの和・差・実数倍	4~9	なし
2	第1章 平面上のベクトル	ベクトルの計算, 表現, 成分表示	10~15	なし
3	第1(2)章 平面(空間)ベクトル	ベクトルの内積, 空間の成分表示	18~21, 41, 46	なし
4	第3章 複素数平面	複素数の性質・四則計算, 複素数平面	58~63	なし
5	第3章 複素数平面, 第4章 式と曲線	極形式, ド・モアブルの定理, 放物線の性質	66, 67, 72, 87	なし
6	第4章 式と曲線	楕円・双曲線の性質, 媒介変数表示	89,93,101,103,104	なし
前期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	第1章 平面上のベクトル	ベクトルの計算, 表現, 成分表示	10~15	なし
前期考查・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
前期	第1章 平面上のベクトル	ベクトルの計算, 表現, 成分表示	10~15	なし
後期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	第4章 式と曲線	放物線・楕円・双曲線の性質, 媒介変数表示	87,89,93,101,103,104	なし
単位認定試験・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
後期	第4章 式と曲線	放物線・楕円・双曲線の性質, 媒介変数表示	87,89,93,101,103,104	なし

学習の成果に係る 評価・単位認定基準		留意点	
評価	知識・技能	レポートに未記入等の不備がある場合や正答率が26%未満の場合は, 不合格として再提出。 レポートの提出が締切期限外・再提出がされない場合は, 最高点を26点とする。 スクーリング出席率60%以上, 全レポート合格, 単位認定試験(後期考查)受験が単位認定の条件	
		思考・判断・表現	
		主体的に学習に取り組む態度	
A	考查・課題等において, 知識・技能が十分に定着し, 日常的に活用できている。	レポートにおいて, 全体的に優秀な成績を取めるなど, 思考・判断し, 表現できている。	多くの割合において, スクーリングに出席し, 主体的・計画的に粘り強く取り組む努力が認められる。
B	考查・課題等において, 知識・技能がほぼ定着し, 活用できている。	レポートにおいて, 概ね合格とする基準を上回る程度にできており, 思考・判断し, 表現できている。	スクーリングにおいて, 主体的・計画的に関わりとうとする姿勢がやや見られる。
C	考查・課題等において, 知識・技能の定着にさらなる努力を要する。	レポートにおいて, ある程度の基準を満たしているが, さらに努力を要する。	

教科	科目	略称	単位数	履修上の留意点			担当者
理科	科学と人間生活	科人	2	教科書をしっかり読んでレポートを完成させる			西川
教科書発行者	東京書籍	番号	科人	002-901	教科書名	改訂 科学と人間生活	
修得条件	提出レポート数	6	考查・課題	考查	出席必要回数/スクーリング回数	4 / 8	
指導目標				メディア視聴	任意参考	メディア減免	6割を上限

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見直しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。

年間指導計画

レポート			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	1編 生命の科学 1章 微生物とその利用	身の回りの微生物、微生物のはたらき、発酵と腐敗	14～35	
2	1編 生命の科学 2章 ヒトの生命現象	視覚と目の構造、血液濃度の調整、免疫と遺伝子	38～63	
3	2編 物質の科学 1章 材料とその再利用	金属の性質と再利用、プラスチックの性質と再利用	66～91	
4	2編 物質の科学 2章 衣料と食品	繊維の種類と性質、脂質・炭水化物・タンパク質の性質	94～113	
5	3編 光や熱の科学 1章 光の性質とその利用	光の波としての性質、スペクトル、電磁波の利用	116～135	
6	3編 光や熱の科学 2章 熱の性質とその利用	熱運動とブラウン運動、熱の伝わり方、エネルギーの有効利用	138～155	
前期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	2編 物質の科学 1章 材料とその再利用	金属の性質とイオン化傾向（観察実験）	70～81	なし
2	2編 物質の科学 1章 材料とその再利用	電池のメカニズム	118～129	なし
3	3編 光や熱の科学 1章 光の性質とその利用	光のスペクトル（観察実験）	118～129	なし
4	3編 光や熱の科学 1章 光の性質とその利用	色が見えるメカニズム	118～129	なし
前期考查・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
前期	1・2編 生命・物質の科学	レポートNo. 1～3の内容を中心に出题します	14～91	なし
後期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	3編 光や熱の科学 1章 光の性質とその利用	電磁波とその利用（観察実験）	130～135、148～155	なし
2	3編 光や熱の科学 1章 光の性質とその利用	電力とその利用	140～147	なし
3	3編 光や熱の科学 2章 熱の性質とその利用	ブラウン運動の観察（実験）	140～147	なし
4	3編 光や熱の科学 2章 熱の性質とその利用	状態変化（実験）	140～147	なし
単位認定試験・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
後期	3編 光や熱の科学	レポートNo. 4～6の内容を中心に出题します	94～155	なし

学習の成果に係る 評価・単位認定基準		留意点
評価	知識・技能	レポートに未記入等の不備がある場合や正答率が26%未満の場合は、不合格として再提出。 レポートの提出が締切期限外・再提出がされない場合は、最高点を26点とする。 スクーリング出席率60%以上、全レポート合格、単位認定試験（後期考查）受験が単位認定の条件
		主体的に学習に取り組む態度
A	考查・課題等において、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	レポートにおいて、全体的に優秀な成績を収めるなど、思考・判断し、表現できている。
B	考查・課題等において、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	レポートにおいて、概ね合格とする基準を上回る程度にできており、思考・判断し、表現できている。
C	考查・課題等において、知識・技能の定着にさらなる努力を要する。	レポートにおいて、ある程度の基準を満たしているが、さらに努力を要する。

教科	科目	略称	単位数	履修上の留意点			担当者
理科	化学基礎	化基	2	構えてかからず、身近にある「化学」を学びましょう			岩田 努
教科書発行者	東京書籍	番号	化基	002-902	教科書名	改訂 新編化学基礎	
修得条件	提出レポート数	6	考查・課題	考查	出席必要回数／スクーリング回数		4 / 8
指導目標				メディア視聴	任意参考	メディア減免	6割を上限
<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するための基本的な技能を身に付ける。 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 							

年 間 指 導 計 画

レポート			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	1編 物質の構成 1章 物質の成分と構成元素	物質の分離方法、元素、物質の三態について	24～44	
2	1編 物質の構成 2章 原子の構造と元素の周期表	原子の構造、電子配置と周期表について	46～57	
3	1編 物質の構成 3章 化学結合	イオン結合、共有結合、金属結合など様々な結合について	58～93	
4	2編 物質の変化 1章 物質量と化学反応式	物質量の計算と化学反応式について	96～123	
5	2編 物質の変化 2章 酸と塩基	酸、塩基、中和反応、pHについて	124～153	
6	2編 物質の変化 3章 酸化還元反応	酸化と還元、酸化還元反応について	154～182	
前期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	1編 物質の構成 1章 物質の成分と構成元素	物質の分離方法、元素、物質の三態について	24～44	
2	1編 物質の構成 2章 原子の構造と元素の周期表	原子の構造、電子配置と周期表について	46～57	
3	1編 物質の構成 3章 化学結合	イオン結合、共有結合、金属結合など様々な結合について	58～93	
4	1編のまとめ	1編のまとめ		
前期考查・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
前期	1編 物質の構成	レポートNo. 1～3の内容を中心に出题します	24～93	
後期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	2編 物質の変化 1章 物質量と化学反応式	物質量の計算と化学反応式について	96～123	
2	2編 物質の変化 2章 酸と塩基	酸、塩基、中和反応、pHについて	124～153	
3	2編 物質の変化 3章 酸化還元反応	酸化と還元、酸化還元反応について	154～182	
4	2編のまとめ	2編のまとめ		
			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
後期	2編 物質の変化	レポートNo. 4～6の内容を中心に出题します	96～182	

学習の成果に係る 評価・単位認定基準		留意点	レポートに未記入等の不備がある場合や正答率が26%未満の場合は、不合格として再提出。 レポートの提出が締切期限外・再提出がされない場合は、最高点を26点とする。 スクーリング出席率60%以上、全レポート合格、単位認定試験（後期考查）受験が単位認定の条件
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	考查・課題等において、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	レポートにおいて、全体的に優秀な成績を収めるなど、思考・判断し、表現できている。	多くの割合において、スクーリングに出席し、主体的・計画的に粘り強く取り組む努力が認められる。
B	考查・課題等において、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	レポートにおいて、概ね合格とする基準を上回る程度にできており、思考・判断し、表現できている。	スクーリングにおいて、主体的・計画的に関わろうとする姿勢がやや見られる。
C	考查・課題等において、知識・技能の定着にさらなる努力を要する。	レポートにおいて、ある程度の基準を満たしているが、さらに努力を要する。	

教科	科目	略称	単位数	履修上の留意点			担当者
理科	生物基礎	生基	2				大島
教科書発行者	東京書籍	番号	生基	002-902	教科書名	改訂 新編生物基礎	
修得条件	提出レポート数	8	考査・課題	考査	出席必要回数/スクーリング回数	4 / 8	
指導目標				メディア視聴	任意参考	メディア減免	6割を上限

日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、生物学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

年 間 指 導 計 画

レポート			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	生物の特徴	生物の多様性と共通性、生物とエネルギー	22～38	7～26
2	遺伝子とそのはたらき	遺伝情報とDNA、遺伝情報とタンパク質	46～73	29～47
3	ヒトの体の調節①	ヒトの体を調節するしくみ	80～100	49～62
4	ヒトの体の調節②	免疫のはたらき	107～119	65～79
5	生物の多様性と生態系①	植生と遷移	128～145	83～95
6	生物の多様性と生態系②	生態系と生物の多様性	155～165	97～107
前期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	生物の特徴	生物の多様性と共通性、生物とエネルギー	22～38	7～26
2	遺伝子とそのはたらき①	遺伝情報とDNA	46～73	29～36
3	遺伝子とそのはたらき②	遺伝情報とタンパク質	80～119	39～47
4	ヒトの体の調節	ヒトの体を調節するしくみ	128～165	49～62
前期考査・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
前期	生物の特徴～ヒトの体の調節	レポート1～4の内容	22～165	7～62
後期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	ヒトの体の調節②	免疫のはたらき	107～119	65～79
2	生物の多様性と生態系①	植生と遷移	128～145	83～95
3	生物の多様性と生態系②	生態系と生物の多様性	155～165	97～107
4	授業のまとめ	スクーリングの内容のまとめ	107～165	65～107
単位認定試験・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
後期	ヒトの体の調節～生物の多様性	レポート5～8の内容	107～165	65～107

学習の成果に係る 評価・単位認定基準		留意点
評価	知識・技能	思考・判断・表現
	主体的に学習に取り組む態度	
A	考査・課題等において、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	レポートにおいて、全体的に優秀な成績を収めるなど、思考・判断し、表現できている。
B	考査・課題等において、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	レポートにおいて、概ね合格とする基準を上回る程度にできており、思考・判断し、表現できている。
C	考査・課題等において、知識・技能の定着にさらなる努力を要する。	レポートにおいて、ある程度の基準を満たしているが、さらに努力を要する。

教科	科目	略称	単位数	履修上の留意点			担当者
保健体育	体育B	体B	2				長谷川・ 玉川・中村
教科書発行者	大修館書店	番号	保体	050-901	教科書名	現代高等保健体育 改訂版	
修得条件	提出レポート数	2	考查・課題	考查	出席必要回数/スクーリング回数	4 / 10	
指導目標			メディア視聴	任意参考	メディア減免	6割を上限	
スポーツの意義や歴史、文化的特徴や、現代スポーツを取り巻くさまざまな問題について学習する。							

年 間 指 導 計 画

レポート			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	体育編 1 単元 05スポーツの高潔さとドーピング 06スポーツと環境	スポーツの高潔さを脅かす要因について、スポーツにおける環境問題について	150～151、154～155	
2	体育編 2 単元 01スポーツにおける技能と体力 02スポーツにおける技術と戦術 03技能の上達過程と練習	技能と体力の関係について、技能の型の違いやそれぞれの練習の仕方、技能がどのようなステップを経て上達するか	158～161、164～165	
前期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	球技（ネット型）バドミントン	ドライブ・ドロップ・ハイクリア・サーブ等基本技術の習得		
2		ドライブ・ドロップ・ハイクリア・サーブ等基本技術の習得		
3		ドライブ・ドロップ・ハイクリア・サーブ等基本技術の習得		
4		ドライブ・ドロップ・ハイクリア・サーブ等基本技術の習得		
5		実技テストへ向けた実践練習		
前期考查・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
前期	球技（ネット型）バドミントン	ドライブ・ドロップ・ハイクリア・サーブ等基本技術の実践		
後期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	球技（ネット型）卓球	フォアハンド・バックハンド・スマッシュ・カット等の基本技術の習得		
2		フォアハンド・バックハンド・スマッシュ・カット等の基本技術の習得		
3		フォアハンド・バックハンド・スマッシュ・カット等の基本技術の習得		
4		フォアハンド・バックハンド・スマッシュ・カット等の基本技術の習得		
5		実技テストへ向けた実践練習		
単位認定試験・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
後期	球技（ネット型）卓球	フォアハンド・バックハンド・スマッシュ・カット等の基本技術の実践		

学習の成果に係る 評価・単位認定基準		留意点
評価	知識・技能	思考・判断・表現
	主体的に学習に取り組む態度	
A	考查・課題等において、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	レポートにおいて、全体的に優秀な成績を収めるなど、思考・判断し、表現できている。
B	考查・課題等において、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	レポートにおいて、概ね合格とする基準を上回る程度にできており、思考・判断し、表現できている。
C	考查・課題等において、知識・技能の定着にさらなる努力を要する。	レポートにおいて、ある程度の基準を満たしているが、さらに努力を要する。

教科	科目	略称	単位数	履修上の留意点			担当者
保健体育	体育C	体C	3				長谷川・ 玉川・中村
教科書発行者	大修館書店	番号	保体	050-901	教科書名	現代高等保健体育 改訂版	
修得条件	提出レポート数	3	考查・課題	考查	出席必要回数/スクーリング回数	6 / 15	
指導目標				メディア視聴	任意参考	メディア減免	6割を上限
必要な体力をトレーニングによって向上させることで築くことができる運動やスポーツを生涯にわたって継続していくための基礎を学習する。							

年 間 指 導 計 画

レポート			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	体育編 2 単元 04 効果的な動きのメカニズム 05 体カトレーニング	体の動きはどのようなしくみで開始され持続していくのか、目的に応じた様々なトレーニングの方法	168~169、172~175	
2	06 運動やスポーツでの安全の確保 体育編 3 単元 01 生涯スポーツの見方・考え方 02 ライフスタイルに応じたスポーツ	スポーツ外傷とスポーツ障害の違い、社会の変化にともなうスポーツの役割の変化、「する」スポーツライフスタイルについて	176~177、182~183、186~187	
3	03 スポーツを推進する取り組み 04 豊かなスポーツライフの創造	国内でスポーツを推進してきた従来の取り組み、これまでとこれからのスポーツライフの違い	190~191、194~195	
前期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	球技（ネット型）バドミントン	ドライブ・ドロップ・ハイクリア・サーブ等基本技術の習得		
2		ドライブ・ドロップ・ハイクリア・サーブ等基本技術の習得		
3		ドライブ・ドロップ・ハイクリア・サーブ等基本技術の習得		
4		ドライブ・ドロップ・ハイクリア・サーブ等基本技術の習得		
5		実技テストへ向けた実践練習		
6	体育行事・学び直し	体育行事（ボウリング大会）に参加するか		
7		他のスクーリング型の体育Cのスクーリングを2回出席		
前期考查・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
前期	球技（ネット型）バドミントン	ドライブ・ドロップ・ハイクリア・サーブ等基本技術の実践		
後期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	球技（ネット型）卓球	フォアハンド・バックハンド・スマッシュ・カット等の基本技術の習得		
2		フォアハンド・バックハンド・スマッシュ・カット等の基本技術の習得		
3		フォアハンド・バックハンド・スマッシュ・カット等の基本技術の習得		
4		フォアハンド・バックハンド・スマッシュ・カット等の基本技術の習得		
5		実技試験へ向けた実践練習		
6	体育行事・学び直し	体育行事（ボウリング大会）に参加するか		
7		他のスクーリング型の体育Cのスクーリングを2回出席		
8				
単位認定試験・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
後期	球技（ネット型）卓球	フォアハンド・バックハンド・スマッシュ・カット等の基本技術の実践		

学習の成果に係る 評価・単位認定基準		留意点
		レポートに未記入等の不備がある場合や正答率が26%未満の場合は、不合格として再提出。 レポートの提出が締切期限外・再提出がされない場合は、最高点を26点とする。 スクーリング出席率60%以上、全レポート合格、単位認定試験（後期考查）受験が単位認定の条件
評価	知識・技能	思考・判断・表現
A	考查・課題等において、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	レポートにおいて、全体的に優秀な成績を収めるなど、思考・判断し、表現できている。
B	考查・課題等において、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	レポートにおいて、概ね合格とする基準を上回る程度にできており、思考・判断し、表現できている。
C	考查・課題等において、知識・技能の定着にさらなる努力を要する。	レポートにおいて、ある程度の基準を満たしているが、さらに努力を要する。

教科	科目	略称	単位数	履修上の留意点			担当者
保健体育	保健	保健	1				山田 寛
教科書発行者	大修館書店	番号	保体	050-901	教科書名	現代高等保健体育 改訂版	
修得条件	提出レポート数	3	考査・課題	考査	出席必要回数/スクーリング回数	1 / 1	
指導目標			メディア視聴	任意参考	メディア減免	6割を上限	
現代の健康問題や新しい時代の健康の考え方などについて、学習する。							

年 間 指 導 計 画

レポート			教科書		学習書
no	項目	内容	該当ページ (旧教科書)	該当ページ (新教科書)	該当ページ
1	保健編 1 単元 01健康の考え方と成り立ち 02私たちの健康のすかた 03生活習慣病の予防と回復 04がんの原因と予防 06運動と健康 08休養・睡眠と健康 10飲酒と健康 11薬物乱用と健康	さまざまな健康の考え方について、生活習慣病の種類と要因、がんの種類や要因、健康と運動の関係、健康と休養の関係、飲酒による健康への影響、薬物乱用が及ぼす影響	6～9、 12～15、 20～21、 24～25、 30～33	4～7、 10～13 18～19、 22～23、 26～31	
2	12精神疾患の特徴 13精神疾患の予防 14精神疾患からの回復 15現代の感染症 16性感染症・エイズとその予防 18健康に関する意思決定・行動選択 19健康に関する環境づくり	精神疾患の発病の要因とおもな症状、精神疾患を予防する方法、精神疾患の治療、感染症とは何か、性感染症・エイズがほかの感染症と異なる点、社会環境の健康への影響	36～41、 44～45 48～49、 52～55	34～39、 42～43 46～47、 50～53	
3	保健編 2 単元 01事故の現状と発生要因 02安全な社会の形成 03交通における安全 04応急手当の意義とその基本 05日常的な応急手当 06心肺蘇生法	事故の実態と被害の実態について、安全のために必要な個人の行動、交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備、応急手当の意義、日常的な応急手当、心肺蘇生法の方法と手順	60～65 68～73	58～63 66～71	
スクーリング（後期のみ）			教科書		学習書
no	項目	内容	該当ページ (旧教科書)	該当ページ (新教科書)	該当ページ
1	保健編 1 単元 09喫煙と健康 13精神疾患の予防	喫煙と健康、精神疾患の予防についてDVD視聴	28～29、38～39	26～27、36～37	
単位認定試験・課題等			教科書		学習書
	項目	内容	該当ページ		該当ページ
後期	保健編 1 単元 09喫煙と健康 13精神疾患の予防	喫煙と健康、精神疾患の予防についての問題を解答 教科書持ち込み可	28～29、38～39		

学習の成果に係る 評価・単位認定基準		留意点
評価	知識・技能	思考・判断・表現
	主体的に学習に取り組む態度	
A	考査・課題等において、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	レポートにおいて、全体的に優秀な成績を取めるなど、思考・判断し、表現できている。
B	考査・課題等において、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	レポートにおいて、概ね合格とする基準を上回る程度にできており、思考・判断し、表現できている。
C	考査・課題等において、知識・技能の定着にさらなる努力を要する。	レポートにおいて、ある程度の基準を満たしているが、さらに努力を要する。

教科	科目	略称	単位数	履修上の留意点			担当者
芸術	音楽I	音I	2				水澤
教科書発行者	大修館書店	番号	音I	050-901	教科書名	音楽 I 改訂版 T u t t i +	
修得条件	提出レポート数	8	考查・課題	考查	出席必要回数/スクーリング回数	4 / 8	
指導目標				メディア視聴	任意参考	メディア減免	6割を上限
生涯にわたり芸術を愛好する心情を育て、芸術の諸能力を伸ばし、豊かな情操を養う。							

年 間 指 導 計 画

レポート			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	楽典1、日本歌曲	楽典、日本歌曲	146～149、14、15	
2	楽典2、ドイツ歌曲	楽典、ドイツ歌曲	28,29,114～117、149	
3	発声、世界の音楽	発声について、世界の音楽について	12,22,23,106,107,147,149	
4	楽典3、世界の歌	楽典、世界の歌曲	38、146～148	
5	日本の民謡と芸能	日本の民謡と芸能	46～49,96～99	
6	ピアノの世界	ピアノの世界	83,110,118,119,149,100	
前期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	楽典、歌曲	楽典について、歌曲について		
2	発声、世界の音楽	発声について、世界の音楽について		
前期考查・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
前期	楽典、歌曲、発声、世界の音楽	各課題の理解、確認		
後期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	楽典、世界の歌、ピアノの世界	楽典、世界の歌、ピアノの世界		
2	日本の民謡と芸能	日本の民謡と芸能		
単位認定試験・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
後期	楽典、世界の歌、ピアノの世界、日本の民謡と芸能	各課題の理解、確認		

学習の成果に係る 評価・単位認定基準		留意点
		レポートに未記入等の不備がある場合や正答率が26%未満の場合は、不合格として再提出。 レポートの提出が締切期限外・再提出がされない場合は、最高点を26点とする。 スクーリング出席率60%以上、全レポート合格、単位認定試験（後期考查）受験が単位認定の条件
評価	知識・技能	思考・判断・表現
A	考查・課題等において、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	レポートにおいて、全体的に優秀な成績を収めるなど、思考・判断し、表現できている。
B	考查・課題等において、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	レポートにおいて、概ね合格とする基準を上回る程度にできており、思考・判断し、表現できている。
C	考查・課題等において、知識・技能の定着にさらなる努力を要する。	レポートにおいて、ある程度の基準を満たしているが、さらに努力を要する。

教科	科目	略称	単位数	履修上の留意点			担当者
外国語	英語コミュニケーションI	CI	3				後藤 久美
教科書発行者	東京書籍	番号	C I	002-901	教科書名	All Aboard! English Communication I Revised	
修得条件	提出レポート数	9	考查・課題	考查	出席必要回数/スクーリング回数	5 / 12	
指導目標				メディア視聴	任意参考	メディア減免	6割を上限
・日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 ・日常的・社会的な話題について、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。							

年間指導計画

レポート			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	Lesson 1, Lesson 2	Lesson 1 Breakfast around the World, Lesson 2 Australia's Cute Quokkas, 過去形, 進行形, 否定文と疑問文	p.16~p.33	
2	Lesson 3	Lesson 3 Life with Spade, 道案内, 助動詞	p.34~p.42	
3	Lesson 4	Lesson 4 A Miracle Mirror, 英文Eメールの書き方, 人物当てクイズ, 不定詞, 接続詞	P.44~p.55	
4	Lesson 5	Lesson 5 A Dream Engine, 動名詞, S+V+O+O	p.56~p.69	
5	Lesson 6	Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period, 受動態	p.74~p.83	
6	Lesson 7	Lesson 7 A Diary of Hope, 比較	p.84~p.93	
7	Lesson 8	Lesson 8 A Door to a New Life, 現在完了形, S+V+O+C	p.94~p.107	
8	Lesson 9	Lesson 9 Ghosts in the Oceans, 分詞	p.108~P.119	
9	Lesson 10	Lesson 10 Pigs from across the Sea, 関係代名詞	p.120~p.131	
前期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	Pre-Lesson 1、 Pre-Lesson 2、Lesson 1	Lesson 1 Breakfast around the World, be動詞、一般動詞、過去形	p.10~p.23	
2	Lesson 2	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas, 進行形	p.24~p.33	
3	Lesson 3	Lesson 3 Life with Spade, 助動詞	p.34~p.42	
4	Lesson 4	Lesson 4 A Miracle Mirror, 不定詞, 接続詞	P.44~p.55	
5	Lesson 5	Lesson 5 A Dream Engine, 動名詞, S+V+O+O	p.56~p.69	
6	Lesson 1~Lesson 5	Lesson 1 ~ 5の内容理解、文法の復習	p.16~p.69	
前期考查・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
前期	Lesson 1~Lesson 5	各単元からの内容理解、文法表現の定着度を確認	p.16~p.69	
後期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	Lesson 6	Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period, 受動態	p.74~p.83	
2	Lesson 7	Lesson 7 A Diary of Hope, 比較	p.84~p.93	
3	Lesson 8	Lesson 8 A Door to a New Life, 現在完了形, S+V+O+C	p.94~p.107	
4	Lesson 9	Lesson 9 Ghosts in the Oceans, 分詞	p.108~P.119	
5	Lesson 10	Lesson 10 Pigs from across the Sea, 関係代名詞	p.120~p.131	
6	Lesson 6~Lesson 10	Lesson 6~10の内容理解、文法の復習	p.74~p.131	
単位認定試験・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
後期	Lesson 6~Lesson 10	各単元からの内容理解、文法表現の定着度を確認	p.74~p.131	

学習の成果に係る 評価・単位認定基準		留意点 レポートに未記入等の不備がある場合や正答率が26%未満の場合は、不合格として再提出。 レポートの提出が締切期限外・再提出がされない場合は、最高点を26点とする。 スクーリング出席率60%以上、全レポート合格、単位認定試験（後期考查）受験が単位認定の条件	
			評価 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
A	考查・課題等において、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	レポートにおいて、全体的に優秀な成績を取めるなど、思考・判断し、表現できている。	多くの割合において、スクーリングに出席し、主体的・計画的に粘り強く取り組む努力が認められる。
B	考查・課題等において、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	レポートにおいて、概ね合格とする基準を上回る程度にできており、思考・判断し、表現できている。	スクーリングにおいて、主体的・計画的に関わろうとする姿勢がやや見られる。
C	考查・課題等において、知識・技能の定着にさらなる努力を要する。	レポートにおいて、ある程度の基準を満たしているが、さらに努力を要する。	

教科	科目	略称	単位数	履修上の留意点			担当者
外国語	英語コミュニケーションII	CII	4				山内 聡也
教科書発行者	東京書籍	番号	CII	701	教科書名	All Aboard! English Communication II	
修得条件	提出レポート数	12	考查・課題	考查	出席必要回数/スクーリング回数	7 / 16	
指導目標			メディア視聴	任意参考	メディア減免	6割を上限	
・日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 ・日常的・社会的な話題について、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。							

年間指導計画

レポート			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	Pre-Lesson, Lesson 1	Pre-Lesson My Plans for This Year, Lesson 1 A Colorful Island, 病院での診察、関係代名詞what	p.8~p.19	
2	Lesson 2	Lesson 2 With the Beatles, Word Box Feelings and Emotions, 比較	p.20~p.29	
3	Lesson 3	Lesson 3 Wild Men, 形式主語 it	p.30~p.41	
4	Lesson 4	Lesson 4 Little Hero, 間接疑問	p.42~p.51	
5	Lesson 5	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki, Word Box 3 The Body and Clothes, 不定詞を含む表現	p.57~p.69	
6	Reading 1	Reading 1 Mujina	p.70~p.75	
7	Lesson 6	Lesson 6 Seeds for Future Generations, Word Box 4 Various Jobs, 動詞の目的語になるif節	p.78~p.91	
8	Lesson 7	Lesson 7 Over the Wall, Communication 2 入国審査, 関係副詞	p.92~p.104	
9	Lesson 8	Lesson 8 Inspiration from Nature, 知覚動詞	p.106~p.117	
10	Lesson 9	Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate, 使役動詞	p.120~p.131	
11	Lesson 10	Lesson 10 Fighting Angel, 分詞構文	p.134~145	
12	Reading 2	Reading 2 Bear's Pie	p.148~p.153	
前期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	Pre-Lesson, Lesson 1	Pre-Lesson My Plans for This Year, Lesson 1 A Colorful Island, 関係代名詞what	p.8~p.19	
2	Lesson 2	Lesson 2 With the Beatles, 比較	p.20~p.27	
3	Lesson 3	Lesson 3 Wild Men, 形式主語 it	p.30~p.41	
4	Lesson 4	Lesson 4 Little Hero, 間接疑問	p.42~p.51	
5	Lesson 5	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki, 不定詞を含む表現	p.57~p.67	
6	Lesson 1~Lesson 5	Lesson 1~5の内容理解、文法の復習	p.10~p.67	
7	Reading 1	Reading 1 Mujina	p.70~p.75	
8		他のスクーリング型の前期スクーリング1~7のいずれかに1回出席		
前期考查・課題等			教科書	学習書
項目	内容		該当ページ	該当ページ
前期	Lesson 1~5, Reading 1	各単元からの内容理解、文法表現の定着度を確認	p.10~p.75	
後期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	Lesson 6	Lesson 6 Seeds for Future Generations, 動詞の目的語になるif節	p.78~p.89	
2	Lesson 7	Lesson 7 Over the Wall, 関係副詞	p.92~p.103	
3	Lesson 8	Lesson 8 Inspiration from Nature, 知覚動詞	p.106~p.117	
4	Lesson 9	Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate, 使役動詞	p.120~p.131	
5	Lesson 10	Lesson 10 Fighting Angel, 分詞構文	p.134~145	
6	Lesson 6~Lesson 10	Lesson 6~10の内容理解、文法の復習	p.78~p.145	
7	Reading 2	Reading 2 Bear's Pie	p.148~p.153	
8		他のスクーリング型の後期スクーリング1~7のいずれかに1回出席		
単位認定試験・課題等			教科書	学習書
項目	内容		該当ページ	該当ページ
後期	Lesson 6~10, Reading 2	各単元からの内容理解、文法表現の定着度を確認	p.78~p.153	

学習の成果に係る 評価・単位認定基準		留意点	レポートに未記入等の不備がある場合や正答率が26%未満の場合は、不合格として再提出。 レポートの提出が締切期限外・再提出がされない場合は、最高点を26点とする。 スクーリング出席率60%以上、全レポート合格、単位認定試験（後期考查）受験が単位認定の条件
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	考查・課題等において、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	レポートにおいて、全体的に優秀な成績を収めるなど、思考・判断し、表現できている。	多くの割合において、スクーリングに出席し、主体的・計画的に粘り強く取り組む努力が認められる。
B	考查・課題等において、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	レポートにおいて、概ね合格とする基準を上回る程度にできており、思考・判断し、表現できている。	スクーリングにおいて、主体的・計画的に関わろうとする姿勢がやや見られる。
C	考查・課題等において、知識・技能の定着にさらなる努力を要する。	レポートにおいて、ある程度の基準を満たしているが、さらに努力を要する。	

教科	科目	略称	単位数	履修上の留意点			担当者
外国語	論理・表現I	論I	2				行廣 隆司
教科書発行者	東京書籍	番号	論I	002-901	教科書名	NEW FAVORITE English Logic and Expression I Revised	
修得条件	提出レポート数	6	考查・課題	考查	出席必要回数/スクーリング回数	4 / 8	
指導目標				メディア視聴	任意参考	メディア減免	6割を上限
<p>・基本的な語句や文を用いて、文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを、やり取りを通して伝え合うことができる。</p> <p>・基本的な語句や文を用いて、論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、書いて伝えることができる。</p>							

年 間 指 導 計 画

レポート			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	Lesson 1 初めての食事、 Lesson 2 道に迷う	褒める・勧める・断る、提案・依頼・道順を説明する	p.14~p.25	
2	Lesson 3 人物紹介、 Lesson 4 体調が悪い	身近な人を紹介する・注意を引く、 体調を伝える・尋ねる・指示・アドバイスをする	p.26~p.37	
3	Lesson 5 買い物、 Lesson 6 行ってみたい場所	描写する・相づちを打つ、希望や理由を述べる	p.38~p.49	
4	Lesson 7 イベントに誘われる、 Lesson 8 スクールカウンセラーに相談	誘う・誘いを受ける・誘いを断る、状況を説明する・ 手助けを申し出る・助言・提案する・お礼や感謝を伝える	p.50~p.61	
5	Lesson 9 お気に入りを紹介、 Lesson 10 待ち合わせに遅刻	映画や本のあらすじの要約・登場人物の紹介・感想 や批評を述べる、謝る・許す・励ます	p.62~p.73	
6	Lesson 11 家庭でのディスカッション、 Lesson 12 英字新聞に投稿	共感や残念な気持ちを述べる・解決策を提案する、 要望・主張・理由を述べる	p.74~p.85	
前期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	Lesson 1 初めての食事、 Lesson 2 道に迷う	褒める・勧める・断る、提案・依頼・道順を説明する	p.14~p.25	
2	Lesson 3 人物紹介、 Lesson 4 体調が悪い	身近な人を紹介する・注意を引く、 体調を伝える・尋ねる・指示・アドバイスをする	p.26~p.37	
3	Lesson 5 買い物、 Lesson 6 行ってみたい場所	描写する・相づちを打つ、希望や理由を述べる	p.38~p.49	
4	Lesson 1~Lesson 6	Lesson 1~Lesson 6の内容理解、表現、文法の復習	p.14~p.49	
前期考查・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
前期	Lesson 1~Lesson 6	各単元からの内容理解、表現、文法の定着度を確認	p.14~p.49	
後期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	Lesson 7 イベントに誘われる、 Lesson 8 スクールカウンセラーに相談	誘う・誘いを受ける・誘いを断る、状況を説明する・ 手助けを申し出る・助言・提案する・お礼や感謝を伝える	p.50~p.61	
2	Lesson 9 お気に入りを紹介、 Lesson 10 待ち合わせに遅刻	映画や本のあらすじの要約・登場人物の紹介・ 感想や批評を述べる、謝る・許す・励ます	p.62~p.73	
3	Lesson 11 家庭でのディスカッション、 Lesson 12 英字新聞に投稿	共感や残念な気持ちを述べる・ 解決策を提案する、要望・主張・理由を述べる	p.74~p.85	
4	Lesson 7~Lesson 12	Lesson 6~Lesson 12の内容理解、表現、文法の復習	p.50~p.85	
単位認定試験・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
後期	Lesson 7~Lesson 12	各単元からの内容理解、表現、文法の定着度を確認	p.50~p.85	

学習の成果に係る 評価・単位認定基準		留意点
		レポートに未記入等の不備がある場合や正答率が26%未満の場合は、不合格として再提出。 レポートの提出が締切期限外・再提出がされない場合は、最高点を26点とする。 スクーリング出席率60%以上、全レポート合格、単位認定試験（後期考查）受験が単位認定の条件
評価	知識・技能	思考・判断・表現
A	考查・課題等において、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	レポートにおいて、全体的に優秀な成績を収めるなど、思考・判断し、表現できている。
B	考查・課題等において、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	レポートにおいて、概ね合格とする基準を上回る程度にできており、思考・判断し、表現できている。
C	考查・課題等において、知識・技能の定着にさらなる努力を要する。	レポートにおいて、ある程度の基準を満たしているが、さらに努力を要する。

教科	科目	略称	単位数	履修上の留意点			担当者
家庭	家庭基礎	家基	2	実習を通して、生活に活かせる知識と技術を身につけましょう。			長谷川由紀子
教科書発行者	東京書籍	番号	家基	002-901	教科書名	家庭基礎 自立・共生・創造	
修得条件	提出レポート数	4	考查・課題	考查	出席必要回数/スクーリング回数		2 / 4
指導目標				メディア視聴	任意参考	メディア減免	6割を上限
自立した生活者としての基礎力を育成し、家族・社会との共生を学ぶ。							

年 間 指 導 計 画

レポート			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	人生をつくる	自立した生活者としての生き方を考える	P12～P37	
2	子どもと共に育つ	子どもの発達を支えながら、大人も成長していく関係を考える。	P38～P77	
3	共に生き、共に支える	誰もが助け合いながら安心して暮らせる社会をつくる力を育てる	P78～P118	
4	食生活をつくる 衣生活をつくる	持続可能な食の在り方を考え衣服を通して、 快適で豊かな生活をデザインする	P119～P163	
前期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	スパゲティミートソース、卵スープ	調理の基本技術を学ぶ。「安心に・効率よく・おいしく作る」		
2	スパゲティミートソース、卵スープ	調理の基本技術を学ぶ。「安心に・効率よく・おいしく作る」		
前期考查・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
前期	調理実習振り返りレポート	作る、食べる、考える体験を通して学んだことを記録する。		
後期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	刺し子実習	刺し子の基礎を学び、布を縫う技術、丁寧に暮らす姿勢を身につける。		
2	刺し子実習	刺し子の基礎を学び、布を縫う技術、丁寧に暮らす姿勢を身につける。		
単位認定試験・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
後期	刺し子コースター	刺し子の基礎を学び、布を縫う技術、丁寧に暮らす姿勢を身につける。		

学習の成果に係る 評価・単位認定基準		留意点
		レポートに未記入等の不備がある場合や正答率が26%未満の場合は、不合格として再提出。 レポートの提出が締切期限外・再提出がされない場合は、最高点を26点とする。 スクーリング出席率60%以上、全レポート合格、単位認定試験（後期考查）受験が単位認定の条件
評価	知識・技能	思考・判断・表現
A	考查・課題等において、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	レポートにおいて、全体的に優秀な成績を収めるなど、思考・判断し、表現できている。
B	考查・課題等において、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	レポートにおいて、概ね合格とする基準を上回る程度にできており、思考・判断し、表現できている。
C	考查・課題等において、知識・技能の定着にさらなる努力を要する。	レポートにおいて、ある程度の基準を満たしているが、さらに努力を要する。
		主体的に学習に取り組む態度
		多くの割合において、スクーリングに出席し、主体的・計画的に粘り強く取り組む努力が認められる。
		スクーリングにおいて、主体的・計画的に関わりようとする姿勢がやや見られる。

教科	科目	略称	単位数	履修上の留意点			担当者
家庭	家庭総合	家総	4	実習を通して、生活に活かせる知識と技術を身につけましょう。			長谷川由紀子
教科書発行者	東京書籍	番号	家総	002-901	教科書名	家庭総合 自立・共生・創造	
修得条件	提出レポート数	8	考查・課題	考查	出席必要回数/スクーリング回数	4 / 8	
指導目標				メディア視聴	任意参考	メディア減免	6割を上限
自立した生活者としての基礎力を育成し、家族・社会との共生を学ぶ。							

年 間 指 導 計 画

レポート			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	家族・社会との共生	家族の中で支え合い、社会の中で協力しながら生きる力を育てる	P10～P19	
2	人生をつくる	自立した生活者としての生き方を考える。	P20～P43	
3	子どもと共に育つ	子どもの発達を支えながら、大人も成長していく関係を考える。	P44～P75	
4	超高齢化社会を共に生きる	高齢者を支えるだけでなく、共に生きる社会を作る力を育てる	P76～P93	
5	共に生き、共に支える	誰もが助け合いながら安心して暮らせる社会をつくる力を育てる	P94～P103	
6	食生活をつくる	食の基本を理解し、食文化と社会のつながりを学ぶ。	P104～P125	
7	食生活をつくる	持続可能な食のあり方を考え、家族や地域との食の関わりを学ぶ。	P126～P159	
8	衣生活をつくる	衣服を通して快適で豊かな生活をデザインする。	P160～P179	
前期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	スパゲティミートソース、卵スープ	調理の基本技術を学ぶ。「安心に・効率よく・おいしく作る」		
2	スパゲティミートソース、卵スープ	調理の基本技術を学ぶ。「安心に・効率よく・おいしく作る」		
3	親子丼、揚げ出し豆腐	調理の基本技術を学ぶ。「安心に・効率よく・おいしく作る」		
4	親子丼、揚げ出し豆腐	調理の基本技術を学ぶ。「安心に・効率よく・おいしく作る」		
前期考查・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
前期	調理実習振り返りレポート	作る、食べる、考える体験を通して学んだことを記録する。		
後期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	刺し子実習	刺し子の基礎を学び、布を縫う技術、丁寧に暮らす姿勢を身につける。		
2	刺し子実習	刺し子の基礎を学び、布を縫う技術、丁寧に暮らす姿勢を身につける。		
3	子どもと共に育つ	妊娠・出産をDVDを見ながら説明、親になることを考える。		
4	子どもと共に育つ	妊娠・出産をDVDを見ながら説明、親になることを考える。		
単位認定試験・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
後期	刺し子コースター	刺し子の基礎を学び、布を縫う技術、丁寧に暮らす姿勢を身につける。		

学習の成果に係る 評価・単位認定基準		留意点
評価	知識・技能	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
A	考查・課題等において、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	レポートにおいて、全体的に優秀な成績を収めるなど、思考・判断し、表現できている。 多くの割合において、スクーリングに出席し、主体的・計画的に粘り強く取り組む努力が認められる。
B	考查・課題等において、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	レポートにおいて、概ね合格とする基準を上回る程度にできており、思考・判断し、表現できている。 スクーリングにおいて、主体的・計画的に関わろうとする姿勢がやや見られる。
C	考查・課題等において、知識・技能の定着にさらなる努力を要する。	レポートにおいて、ある程度の基準を満たしているが、さらに努力を要する。

教科	科目	略称	単位数	履修上の留意点			担当者
情報	情報I	情I	2				葛西
教科書発行者	東京書籍	番号	情I	002-901	教科書名	新編情報 I	
修得条件	提出レポート数	4	考査・課題	考査	出席必要回数/スクーリング回数	2 / 4	
指導目標				メディア視聴	任意参考	メディア減免	6割を上限
情報社会における基礎知識を理解し、活用できる能力を身につける							

年 間 指 導 計 画

レポート			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	情報での問題を解決する	情報という用語の意味を理解する	P5～P32	
2	情報を伝える	ネットコミュニケーションのメリットとデメリットを理解する	P33～P60	
3	コンピュータを活用する	基本ソフトウェアと応用ソフトウェアの関係を理解する	P61～P88	
4	データの活用をする	情報通信ネットワークで用いる基本的な用語を理解する。	P89～P116	
前期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	文書作成	Wordというソフトを活用し、理解を深める。		
2	文書作成	Wordというソフトを活用し、理解を深める。		
前期考査・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
前期	打ち込み、文書作成	実技テスト		
後期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	表計算	Excelというソフトを活用し、理解を深める。		
2	表計算	Excelというソフトを活用し、理解を深める。		
単位認定試験・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
後期	打ち込み、表計算	実技テスト		

学習の成果に係る 評価・単位認定基準		留意点
評価	知識・技能	思考・判断・表現
	主体的に学習に取り組む態度	
A	考査・課題等において、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	レポートにおいて、全体的に優秀な成績を収めるなど、思考・判断し、表現できている。
B	考査・課題等において、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	レポートにおいて、概ね合格とする基準を上回る程度にできており、思考・判断し、表現できている。
C	考査・課題等において、知識・技能の定着にさらなる努力を要する。	レポートにおいて、ある程度の基準を満たしているが、さらに努力を要する。

教科	科目	略称	単位数	履修上の留意点		担当者
総合的な探究の時間	総合的な探究の時間I	総探I	1	後期から実施		牧野
教科書発行者	本願寺出版社	番号			教科書名	見真
修得条件	提出レポート数	1	考査・課題	課題（作文）	出席必要回数／スクーリング回数	1 / 1
指導目標				メディア視聴	任意参考	メディア減免
6割を上限						
「平和の大切さ」「知ることの大切さ」を学び、自己中心的な考えをあらため、日常の「当たり前」が、実は「有り難い」ことであったと気づきを得る時間にしていく。						

年 間 指 導 計 画

レポート			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	第2章・第3章・第4章	テキスト『見真』を読み、設問に答える。	P30～P90	
スクーリング			教科書	学習書
1	ビデオ鑑賞	「ひめゆり少女学徒隊」を鑑賞		
単位認定試験・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
後期		感想文		

学習の成果に係る 評価・単位認定基準		留意点
レポートに未記入等の不備がある場合や正答率が26%未満の場合は、不合格として再提出。 レポートの提出が締切期限外・再提出がされない場合は、最高点を26点とする。 スクーリング出席率60%以上、全レポート合格、単位認定試験（後期考査）受験が単位認定の条件		
評価	知識・技能	思考・判断・表現
A	考査・課題等において、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	レポートにおいて、全体的に優秀な成績を収めるなど、思考・判断し、表現できている。
B	考査・課題等において、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	レポートにおいて、概ね合格とする基準を上回る程度にできており、思考・判断し、表現できている。
C	考査・課題等において、知識・技能の定着にさらなる努力を要する。	レポートにおいて、ある程度の基準を満たしているが、さらに努力を要する。

教科	科目	略称	単位数	履修上の留意点		担当者
総合的な探究の時間	総合的な探究の時間II	総探II	2			牧野
教科書発行者	本願寺出版社	番号			教科書名	見真
修得条件	提出レポート数	2	考查・課題	課題（作文）	出席必要回数/スクーリング回数	1 / 2
指導目標				メディア視聴	任意参考	メディア減免
「平和の大切さ」「知ることの大切さ」を学び、自己中心的な考えをあらため、日常の「当たり前」が、実は「有り難い」ことであったと気づきを得る時間にしていく。						

年 間 指 導 計 画

レポート			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	第2章・第3章・第4章	テキスト『見真』を読み、設問に答える。	P30～P90	
2	第1～6章	テキスト『見真』を読み、感想文を書く。	P3～P111	
前期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	ビデオ鑑賞	「全国水平社宣言・差別との闘い」を鑑賞		
前期考查・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
前期		ビデオ感想文		
後期スクーリング			教科書	学習書
no	項目	内容	該当ページ	該当ページ
1	ビデオ鑑賞	「ひめゆり少女学徒隊」を鑑賞		
単位認定試験・課題等			教科書	学習書
	項目	内容	該当ページ	該当ページ
後期		ビデオ感想文		

学習の成果に係る 評価・単位認定基準		留意点		
評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
A	考查・課題等において、知識・技能が十分に定着し、日常的に活用できている。	レポートにおいて、全体的に優秀な成績を収めるなど、思考・判断し、表現できている。	多くの割合において、スクーリングに出席し、主体的・計画的に粘り強く取り組む努力が認められる。	
B	考查・課題等において、知識・技能がほぼ定着し、活用できている。	レポートにおいて、概ね合格とする基準を上回る程度にできており、思考・判断し、表現できている。	スクーリングにおいて、主体的・計画的に関わろうとする姿勢がやや見られる。	
C	考查・課題等において、知識・技能の定着にさらなる努力を要する。	レポートにおいて、ある程度の基準を満たしているが、さらに努力を要する。		